

佐世保市議会
令和2年12月定例会 一般質問順序

質問日	順序	議席 番号	氏名	所属会派	質問方式	質問 時間
12月8日 (火)	1	17	湊 浩二郎	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	2	4	小田 徳顕	日本共産党	【一括方式】	10分
	3	14	北野 正徳	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	4	22	小野原 茂	市民クラブ	【一括方式】	20分
	5	5	鶴 大地	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	6	7	橋之口 裕太	自民党市民会議	【一括方式】	20分
12月9日 (水)	7	10	宮島 武雄	公明党	【一括方式】	20分
	8	31	古家 勉	市民クラブ	【一括方式】	15分
	9	25	田中 稔	自民党市民会議	【一括方式】	15分
	10	1	宮田 京子	歩みの会	【一括方式】	10分
	11	13	永田 秀人	市民クラブ	【一括方式】	20分
12月10日 (木)	12	30	大塚 克史	公明党	【一括方式】	20分
	13	2	田山 藤丸	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	14	29	市岡 博道	自民党市民会議	【一括方式】	15分
	15	12	久野 秀敏	市民クラブ	【一括方式】	15分
	16	15	山下 廣大	自民党市民会議	【一括方式】	20分
12月11日 (金)	17	6	角田 隆一郎	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	18	8	久保 葉人	自民党市民会議	【一括方式】	20分

○ 湊 浩 二 郎

(2 0 分)

【一括方式】

1 クルーズ船誘致の取組について

佐世保港が官民連携による国際クルーズ拠点形成する港湾に選定され、当初の計画では、三浦岸壁に加えて令和2年4月に浦頭岸壁の供用が始まり、多くのクルーズ船が入港し、海外からの観光客も見込まれたことから、多くの佐世保市民も関心を寄せていました。しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大により、特に横浜港に停泊のダイヤモンドプリンセス号船内での感染が大きくマスコミに報道されたことにより、いまだ浦頭岸壁には一隻も入港できず、現在に至っております。

一方、三浦岸壁も同様な状況でありましたが、10月26日に日本の船社のクルーズ船「日本丸」を受入れ、200名近くの日本人観光客が佐世保市を訪れました。このことはコロナ禍において日本初の試みでありました。

三浦岸壁におけるクルーズ船の寄港回数としては、2017年が84隻、2018年が108隻、2019年が79隻と全国で8～10位でしたが、日本の船社はそのうちのそれぞれ2隻、3隻、2隻とわずかしかなかった。このことを踏まえ、今後、国内にも目を向けクルーズ船誘致に取り組むべきだと考えますが、御所見をお伺いします。

〔市 長〕

2 九十九島観光公園について

令和2年6月定例会において、九十九島観光公園の進捗状況については、新型コロナウイルスの感染拡大による影響で、予定していた民間事業者の参画が厳しい状況であるとの説明がありました。

この九十九島観光公園の整備計画は、当初、クルーズ船客を見込んでの開発と聞き及んでいましたが、コロナ禍により計画変更を余儀なくされたものと考えます。企業経済委員会で報告があった森きらら移転問題も含め今後の計画について、御所見をお伺いします。

〔市 長〕

○ 小 田 徳 顕 (10分)

【一括方式】

1 新型コロナウイルス感染症について

- 全国各地で感染者が急増する中、本市の検査体制の現状と方針を問う。

〔市 長〕

2 学校再編について

- コロナ禍の下で少人数学級の実現が注目されている。一方、本市においては学校再編について地域での説明会も始められている。学校再編について本市の見解を問う。

〔教 育 長〕

3 石木ダム建設事業について

- 土地収用法に基づき、県と市が取得した家や土地の明渡し期限から1年が経過した。改めて、石木ダム建設事業について本市の見解を問う。

〔市 長〕
〔水 道 局 長〕

4 核兵器禁止条約について

- 核兵器の保有や使用を全面的に禁じる核兵器禁止条約が、本年10月25日に発効に必要な50か国・地域の批准に達した。核兵器禁止条約についての見解を問う。

〔市 長〕

○ 北 野 正 徳 (20分)

【一括方式】

1 持続可能な地域公共交通の在り方について

平成31年3月24日からバス運行体制は西肥バスへ一体化され、一部のバス路線は西肥バスからさせぼバスへ人件費相当額で委託されることとなった。させぼバスは運転士不足を交通局退職者に頼ることとなり、その人件費不足の補充に駐車場収入を充てる、これが大まかなスキームである。地域公共交通を担うバス運転士は一体化の後も西肥バス、させぼバス、交通局退職者の三つの雇用形態になり、今後、運転士の確保をどのように考えているのか。また、現在のスキームが持続可能であるのかを問う。

〔市 長〕

2 新道建設と地場企業の生産性向上のための工業団地造成による道路混雑解消について

小佐々町の旧工業団地・新工業団地（ウエストテクノ）に至る県道の交通渋滞については随時対策が講じられ、渋滞の解消には至らないものの、現状ほぼ完了形と思われるが、どのように認識しているのか。抜本的な対策としては、佐々川右岸県道から山間を経由してウエストテクノに至るバイパス道の新設しかないと思われる。当該地付近には通称長田池があり、新道建設に伴う掘削土をもって長田池を造成し、地場企業の高度化のための分譲地としてはいかがか。両事業を効果的に組み合わせることにより公共事業に伴う費用対効果が飛躍的に向上する。見解を問う。

〔市 長〕

○ 小野原 茂

(20分)

【一括方式】

- 1 令和2年度日野川流域の日野・椎木地区における豪雨対応について
 - 日野川流域の日野・椎木地区における内水対策について

〔市 長〕

- 2 島瀬美術センターの指定管理化について
 - 島瀬美術センターの収蔵庫の整理状況について
 - 島瀬美術センターの専門性向上策について

〔市 長〕

○ 鶴 大 地

(20分)

【一括方式】

1 「デジタルトランスフォーメーション (DX)」について

2004年に「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させる」と定義され初出したデジタルトランスフォーメーションという考えは、時が経ち現在、政府における「デジタル庁」新設の動きや、本市における「デジタル・ガバメント準備室」や「スマート・スクール・SASEBO推進室」の新設につながっていると考えます。そこで、DXがもたらす市内経済活性化に着眼してお伺いします。

〔市 長〕

2 「空き家等対策」について

空き家等の適正な管理及び活用に向けた対策を実施する中で、本市における現状と課題、これからの展望についてお伺いします。

〔市 長〕

○ 橋之口 裕太

(20分)

【一括方式】

1 地域包括支援センターについて

- 地域包括支援センターの課題と市の関わりについて伺います。

〔市 長〕

2 指定ごみ袋制度の運用見直しについて

- 指定ごみ袋制度の運用見直しについて伺います。

〔市 長〕

3 犯罪被害者支援条例制定後の取組について

- 犯罪被害者支援条例制定後の取組について伺います。

〔市 教 育 長〕

○ 宮 島 武 雄

(2 0 分)

【一括方式】

1 防災・減災対策について

- 災害に備えた取組について

〔市 長〕

2 成人式の在り方について

- 充実と進展について

〔市 教 育 長〕

○ 古 家 勉 (15分)

【一括方式】

1 前畑弾薬庫の針尾島弾薬集積所への移転・集約に係る諸課題について

- 九州防衛局から江上・針尾地区の自治協議会になされた、移転・集約の進捗に係る説明会について
- 移転・集約の受入れ先である江上地区から要望が上がっている陸上自衛隊早岐射撃場の移転について

〔市 長〕

2 本市における今後の住宅政策について

- 平成29年度に策定された「佐世保市空家等対策計画」の進捗状況と、その結果に対する評価について

〔市 長〕

○ 田 中 稔

(1 5 分)

【一括方式】

1 退職自衛官の再就職について

- 本市の取組と実績、実態について
- 免許、資格が生かせる再就職支援について

〔市 長〕

○ 宮 田 京 子

(1 0 分)

【一括方式】

- 1 市営住宅の空室を含む空き家対策と住みやすい街づくりについて
 - 佐世保市営住宅長寿命化計画における11エリアの地域別課題について
 - 同計画における事業手法4分類のうち用途廃止における取壊しの問題について
 - 少子高齢化や家族構成の変化に伴う入居条件緩和について
 - 戸建住宅の空き家対策の進捗度について
 - 地域住民との課題の共有について

〔市 長〕

○ 永 田 秀 人 (20分)

【一括方式】

1 新型コロナウイルス感染症の影響への対応について

新型コロナウイルス感染症の影響で、医療機関では患者の減少が生じ、経営状況が大きく悪化している。国も様々な支援を行っているものの、まだ十分とは言えず、医療現場では賃金面への影響も伝えられ、医療従事者のモチベーション低下を危惧するところである。また、この間かなりの負担を強いられている保健・衛生部門も含め、現場労働者が燃え尽き症候群に陥らないかという点も気になる。市としての現状把握と今後の対策について問う。

また、今年前半の小中学校の一斉休校を踏まえた、今後の感染状況に応じた小中学校の対応についても考え方を問う。

〔市 長〕
〔教 育 長〕

2 改正社会福祉法への対応について

来年4月から施行される改正社会福祉法への対応について、本市では保健福祉部を中心に住民ニーズや地域資源の精査といった準備作業が進められていると認識している。しかし、複合的な困難を抱える住民を包括的に支援していくためには、福祉以外の文脈も重要と言われている。例えば雇用に関しては、労働時間や職務内容について個別の事情を勘案する「オーダーメイド型雇用」が求められている。本市ではこういった視点にどう対応していくのか。

〔市 長〕

3 原子力災害への備えについて

原子力発電所や原子力艦船など本市では原子力災害のリスクを抱えており、毎年防災訓練を行っているが、参加は一部の住民にとどまっている。このため、実際の災害発生時の状況が具体的にイメージできない部分があると考えますが、特に避難所の確保について十分と言えるのか。本年の台風の際の避難所の状況も参考にして、避難所の確保や整備について考えるべきではないか。

〔市 長〕

○ 大 塚 克 史

(20分)

【一括方式】

1 コロナ禍における雇用対策について

○ 現状の課題認識と対策について

〔市 長〕

2 ウィズコロナ時代を踏まえた市役所の窓口業務について

○ 各種窓口業務対応の現状と課題について

〔市 長〕

○ 田 山 藤 丸

(20分)

【一括方式】

1 デジタル環境の整備について

新型コロナの影響下、全国的にオンラインやリモートでの会議などが広がり、市民活動にもインターネット環境は欠かせなくなっています。また、本市では公立公民館のコミュニティセンター化をはじめ、より幅広い世代の方々による公共施設の利用を目指しており、避難所機能など防災面も含め、早期に公衆無線 LAN (Wi-Fi) 環境の整備を図るべきではないでしょうか。さらに、すでに公共インフラともなっている光インターネットの整備状況、未整備地域への対応について見解を伺います。一方で、デジタル環境の強化を望む声は、とくに若い世代に多く、これからの未来を担っていく若者の声を積極的に市政へ反映する機会づくりが求められていますが、市の考えを伺います。

- 市内公共施設のインターネット環境整備について
- 情報通信基盤（光インターネット）の整備について
- 若者の声を市政に反映する機会づくりについて

〔市 長〕
〔教 育 長〕

2 アフターコロナの新しいまちづくりについて

アフターコロナの「ニュー・ノーマル」に対応したまちづくりとして、働くにも住むにも快適な環境、移住対策、交通体系、緑地や水辺、公園などのオープンスペース、医療、食と健康、スポーツ、スマートシティの推進などの重要性が指摘されています。そのような中、本市の広大な優良農地として圃場整備されながら利用が低迷している「相浦土地改良区」が令和4年春までに解散する方針を固めました。そこで、地域の独自性を守りつつ、時代の最先端を目指した当該地の複合的な活性化について、農業振興とまちづくりの視点から見解を伺います。

- 相浦土地改良区の現状と今後の可能性について

〔市 長〕

○ 市 岡 博 道

(1 5 分)

【一括方式】

1 自治体間連携による行政サービスの提供について

- 将来を見据えた基本的な行政サービスの提供について
- 連携推進のための組織文化や組織構造について

〔市 長〕

2 基地交付金について

- 対象資産の拡大について

〔市 長〕

○ 久野秀敏

(15分)

【一括方式】

1 倒木対策について

- 市として管理すべき街路樹等樹木の管理体制について
- 近年の災害等による倒木被害の状況について
- 災害等に備えた点検や事前伐採による計画的な予防対策について

〔市長〕

2 ICT化による事務の効率化について

- 電子決裁・文書管理システムの導入に向けた推進状況について
- デジタル・ガバメント準備室における取組内容について

〔市長〕

○ 山 下 廣 大 (20分)

【一括方式】

1 佐世保市におけるスポーツ施設老朽化及び施設整備、利用について

○ スポーツ施設の老朽化について

- ・ グラウンド、野球場、体育館、プールなど、それぞれが建設されてから30年以上が経過していますが、老朽化の問題などは今後どのように対応されるのですか。

○ 本市におけるスポーツ人口の推移について

- ・ 民間会社のデータによると1990年代からスポーツに触れ合ってる方々は倍増しているとのことでしたが、佐世保市におけるスポーツ人口の推移などは把握されていますか。

○ 人工芝グラウンドの設置について

- ・ 昨今、人工芝グラウンドは、市外、県外では珍しくなく、スポーツ大会などが佐世保市外で行われていることから、佐世保市としても人工芝グラウンドの必要性を感じますが、どのように考えていますか。

〔市 長〕
〔教 育 長〕

○ 角 田 隆 一 郎

(2 0 分)

【一括方式】

1 佐世保市の発信力について

- 現在の新型コロナウイルス感染症の市内感染者数を全国豊かな海づくり大会等で使用したカウントダウンボード等を使用し、市役所正面の時計台の下に設置して、正しく知って正しく気をつけ、感染者等への誹謗中傷防止啓発を行うことについて。
- 名切地区再整備、俵ヶ浦半島開発、文化財保存、包括支援センターの役割、石木ダム建設事業、道路計画、特定複合観光施設（I R）誘致、地域製品の紹介、教育への取組等の課題に対し、月ごとに課題別の15秒CMを作成し、スポットCMを放映し、認知の向上、ホームページへの詳細の説明への誘導を行うことについて。

〔市 長〕

○ 久 保 葉 人 (20分)

【一括方式】

1 児童生徒の体力向上について

- 児童生徒の体力の現状と体力向上のための本市の取組について問う。

〔教 育 長〕

2 ふるさと納税について

- 本市におけるふるさと納税の現状と今後の施策について問う。

〔市 長〕

3 不法投棄ごみへの対応について

- 本市における不法投棄ごみの現状と対応について問う。

〔市 長〕